

幼児教育センターは、就学前から小学校教育へつなぎます。

## 幼児教育センター

# TAKARA 宝っこだより 14

平成30年(2018年)8月

毎日暑い日が続いております。暑中お見舞い申し上げます。

さて、6月18日には、大阪府北部を震源とした最大震度6弱の「大阪府北部地震」が発生。

7月に入ってからは、5日から7日まで降り続いた雨で、公共交通機関の停止や道路の通行止め、西谷地域で起きた土砂災害と、私たちの日常生活にも大きな影響がありました。また、7月末には台風12号が異例の進路をとり、再び大雨の恐怖にさらされました。毎年、どこかで自然災害が発生し、そのたびに自然のもつ偉大さや美しさの反面、怖さを感じます。警報が発表されれば、公立幼稚園は、自宅待機や休園の措置をとりますが、保護者が働いている保育所(園)では、そのような状況下でも子どもを保育することから、職員のみなさまは非常に神経を使われていることと思います。

幼稚園や保育所(園)は、子どもたちにとって、安心して学び、生活できる安全な場所であればなりません。私たちは、事件や事故、災害がいつ、どこで、誰に起こりうるかを予想することは困難です。しかし、対策がないわけではありません。適切な対策をとることによって、危機的状況の発生を防止したり、発生時の被害を低減したりすることも可能になります。つまり、**危機管理体制を確立**しておくことが重要です。

園所内の危機の発生を未然に防止するための**事前対策**、**危機発生時の対応**や**再発防止に向けた対策**を確認する良い機会だと思えます。

7月31日未成幼稚園の「ことばの教室」で研修会が開催されました。

元大阪医専講師で言語聴覚士の晋山先生を招いて、「食べること 話すこと」というテーマで学び合うことができました。『**話すことの発達**』は『**食べることの発達**』が**基礎にある・食べることはコミュニケーションの原型!**』という内容でした。

食事に関する具体的なお話とともに、印象に残ったのは、**できないことの一步手前ができるようになることで、そのことが出来るようになるというお話**でした。

一人一人の子どもは、**その子だけの発達の道筋を歩みます。だからこそ、ひとつひとつ体験を大切にしながら、子どもの育ちを支え、見守っていきたく強く思いました。**

※ 夏に乳幼児がかかりやすいウイルス性の感染症『ヘルパンギーナ』が流行の兆しのようにです。また、ヘルパンギーナと合わせ、『3大夏風邪』と呼ばれる咽頭結膜熱(プール熱)・手足口病の感染も広がっています。警戒ください!

もうすぐやってくる**11日**にはぜひぜひ、ほめほめシャワーをお願いします!

宝塚市教育委員会 幼児教育センター TEL: 0797-77-2132

